

東京都こころといのちのサポートネットの支援事例

事例① 小学生

子ども家庭支援センターから支援依頼

相談概要

不登校になり、死にたいと言っている。
誰にも心を開いて話さない。どう支援すればよいか。

【サポートネットの支援】

- ・ 母親の意向確認して自宅訪問。本人と母親それぞれの気持ちを受け止め、状況をアセスメントした上で、母親へ本人への接し方を助言
- ・ 母親が本人の味方になる形で、学校での面談を調整

▶ 本人と学校との関係修復につながり、登校再開できた

事例③ 高校生

高校のスクールカウンセラーから支援依頼

相談概要

生徒が学校の屋上から飛び降りようとしていたところを保護
SCとの面談を拒否しており、対応方法を相談したい。

【サポートネットの支援】

- ・ 本人と母親それぞれと面接し、母親に接し方を助言し親子関係の修復を支援
- ・ 学校のカンファレンスに出席し、学校での対応の工夫点などを助言

▶ 本人の希死念慮が低くなり、登校再開できた

事例② 中学生

中学の副校長先生から支援依頼

相談概要

生徒が突然、校内で飛び降り。今後、登校予定
飛び降りた原因も分からず、学校はどう対応すればよいか。

【サポートネットの支援】

- ・ 飛び降り時の状況を学校から、家庭での様子を両親から聞き取り
- ・ 本人との面接で様子を確認の上、入院した医療機関と連携し、精神科通院を調整
- ・ 学校での環境調整や対応方針について助言

▶ SC、養護教諭と定期面接しながら、登校再開できた

事例④ 高校生

警察から支援依頼

相談概要

保護した高校生が「死にたい」と言っており、対応を支援してほしい。

【サポートネットの支援】

- ・ 両親から家庭での状況等を聞き取り、友人トラブルを把握
- ・ 近隣で児童精神科を標ぼうする診療所を探し、同行受診
- ・ 母親への相談支援を継続し、友人トラブルの解消を間接的に支援。

▶ 精神科通院を継続しながら、登校再開できた